

## ユニセフカップ2014 西宮国際ハーフマラソン

2014年11月9日(日)「アフリカの子供たちの命と健康を守ろう！」

### 実施レポート

「ユニセフカップ西宮国際ハーフマラソン」(主催/サンケイスポーツ、西宮市体育協会、産経新聞社)が初めて開催されたのが1986年。飢餓に苦しむアフリカ諸国の子供たちを支援しようと、ユニセフ(国連児童基金)が同5月に世界に呼びかけた「スポーツエイド」がそもそもの始まりです。以来、西宮の地で「チャリティーラン」の精神をつむぎながら、阪神間にロードレースシーズンの幕開けを告げる大会として愛されてきました。

大会は阪神甲子園球場前をスタートとする武庫川特設コースで開催され、27回目を迎える今年は全7種目で8,517人が参加。

今年もまた、日本ハムグループは特別協賛で参加し、パリッ!としたおいしさで人気のシャウエッセンを、チャリティフードショップにて様々なメニューにして提供。売上の一部を(財)日本ユニセフ協会に寄付しました。

今年からリニューアルした「食べものクイズコーナー」には多くの子供たちも参加し、「食べることを楽しく学ぼう」をテーマに様々なクイズをお楽しみいただきました。

日本ハムグループは、「食べる喜び」をお届けするとともに、スポーツ振興にも力を注ぎ、皆さまのこころと身体の健康づくりをお手伝いしていきます。



大会当日は記念の第10回を迎える「小学生駅伝」のほか、男女ハーフなど全7種目が行われました。



フードショップではあつあつにボイルされたシャウエッセンをご提供。



みんなでパリッ!



入賞者へは、国内の自社農場で作られた「美ノ国」の骨付きハムや、ウインナー、スライスハムの詰め合わせなどが贈呈されました。